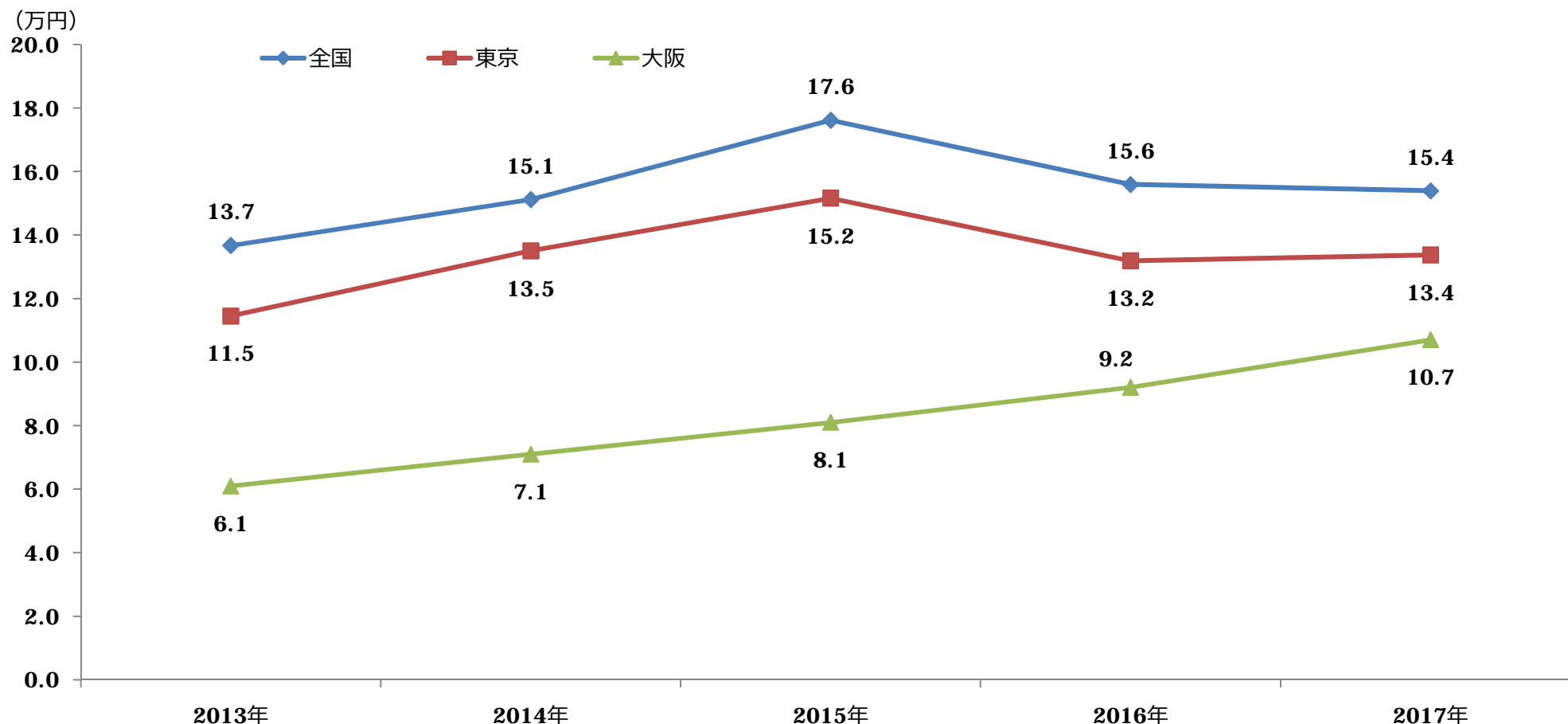


第1回会議における 委員からの要求資料

外国人旅行者 1人当たり旅行消費額の推移

来阪外国人旅行者 1人当たりの旅行消費額は、平成25年から約1.8倍（6万1千円→10万7千円）に増加している。

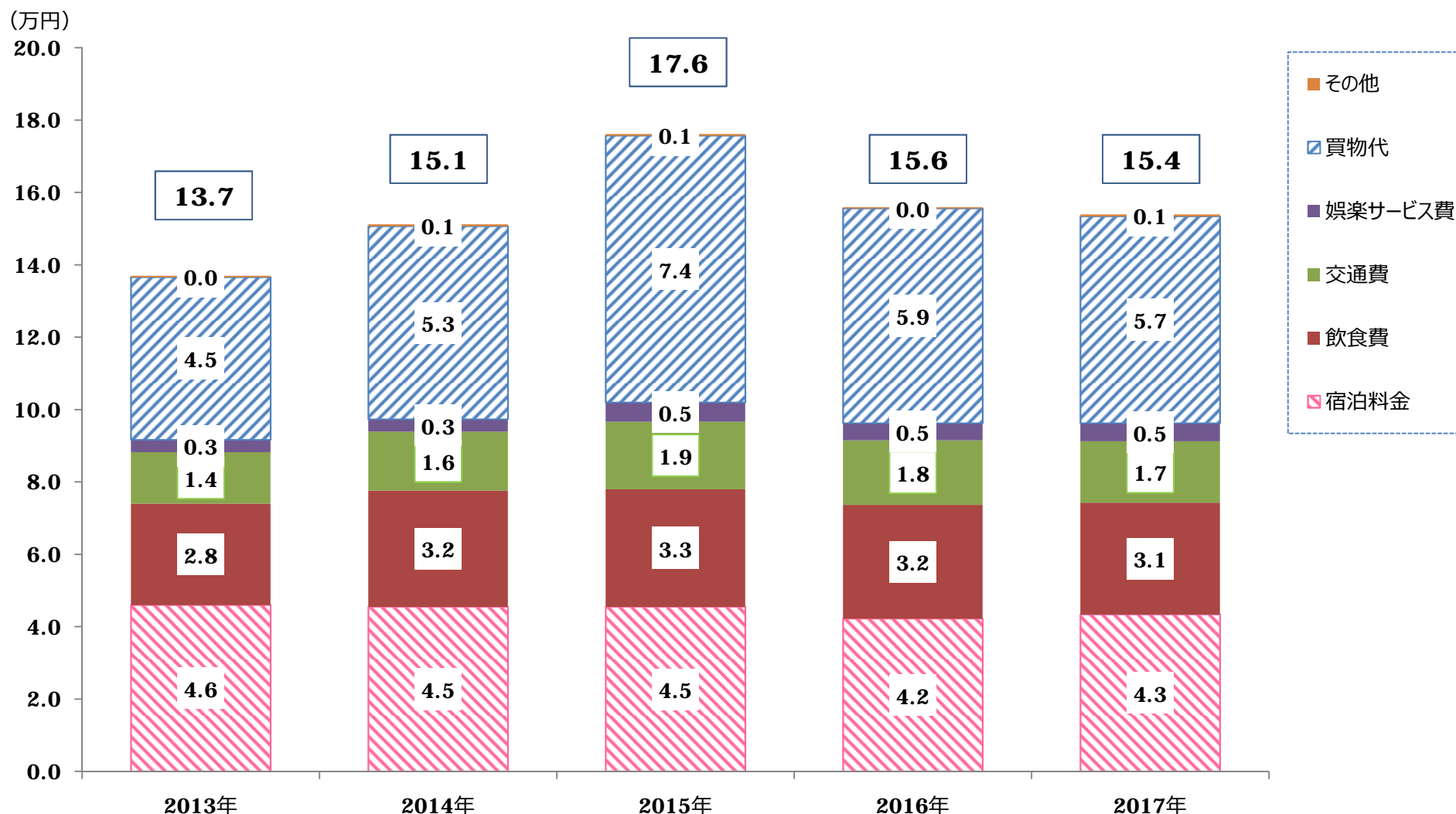


※全国の旅行消費額には、出発国-日本間の航空運賃は含まない

出典：大阪（公財）大阪観光局「外国人動向調査（2013～2016）」、（公財）大阪観光局「来阪インバウンド消費額調査2017年（2017）」
東京 東京都「国別外国人旅行者行動特性調査」 全国 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人旅行者 1 人当たり旅行消費額の内訳の推移（金額）

外国人旅行者 1 人当たり旅行消費額のうち、最もシェアが大きいのは買物代となっているが、平成27年をピークに金額、シェアともに減少傾向にある。

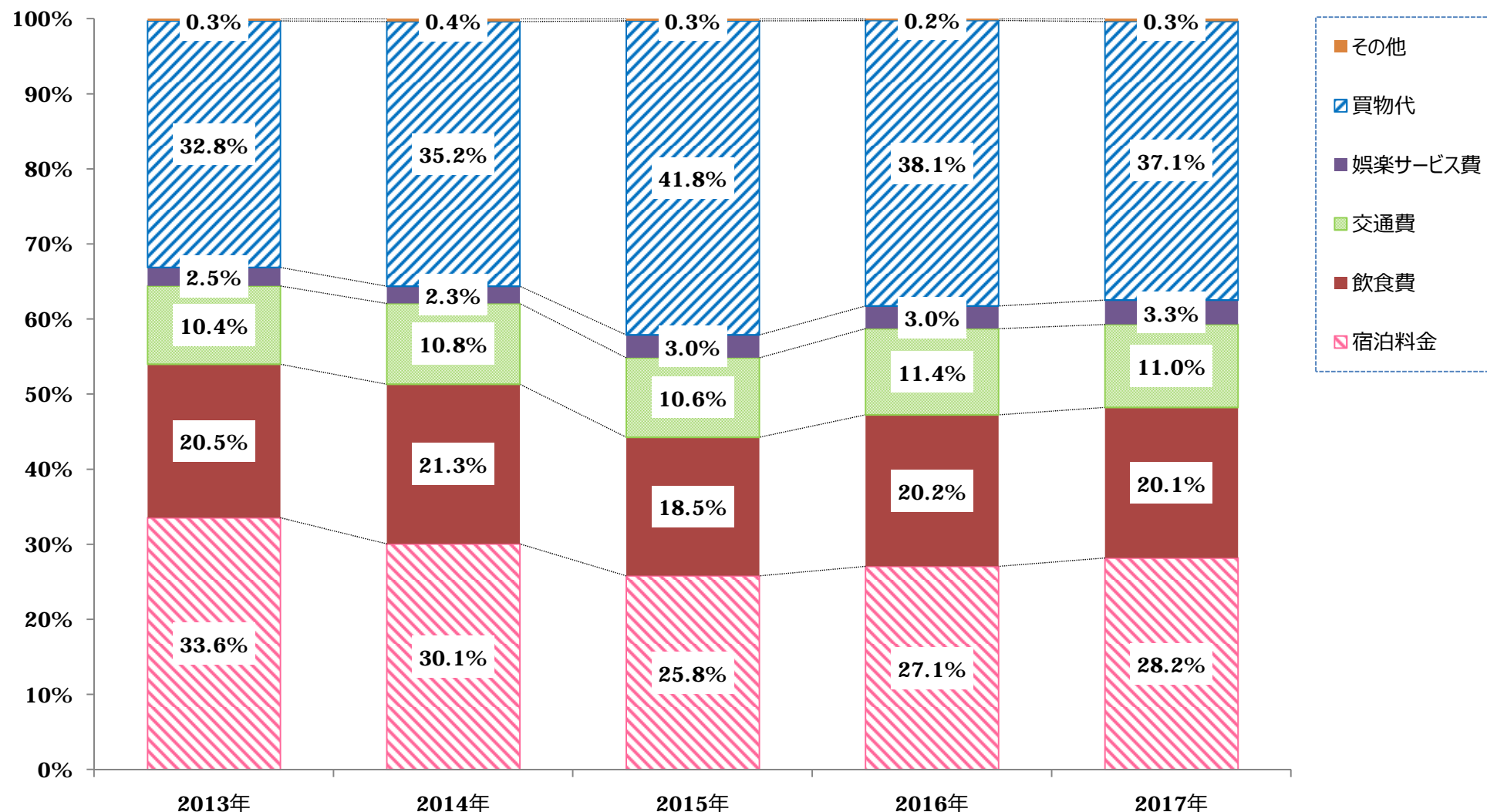


※旅行消費額には、出発国-日本間の航空運賃は含まない

出典：観光庁 「訪日外国人消費動向調査」

訪日外国人旅行者 1 人当たり旅行消費額の内訳の推移（構成比）

宿泊料金については、金額で見ると横ばいだが、シェアについては低下傾向にある。



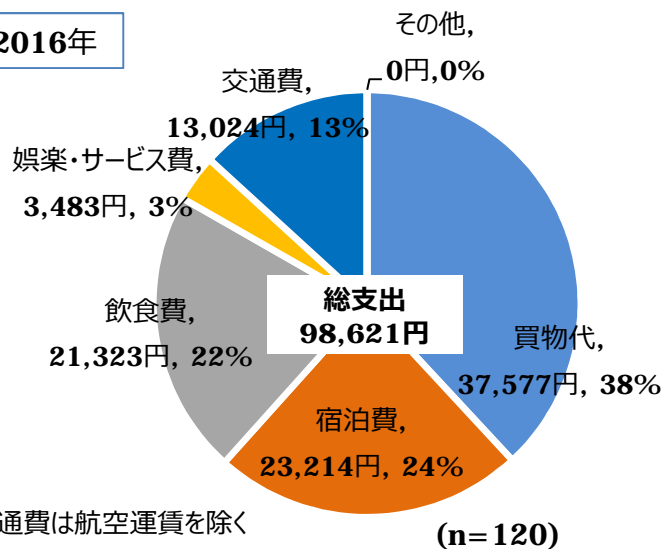
※旅行消費額には、出発国-日本間の航空運賃は含まない

来阪外国人旅行者の買物消費の推移・内訳

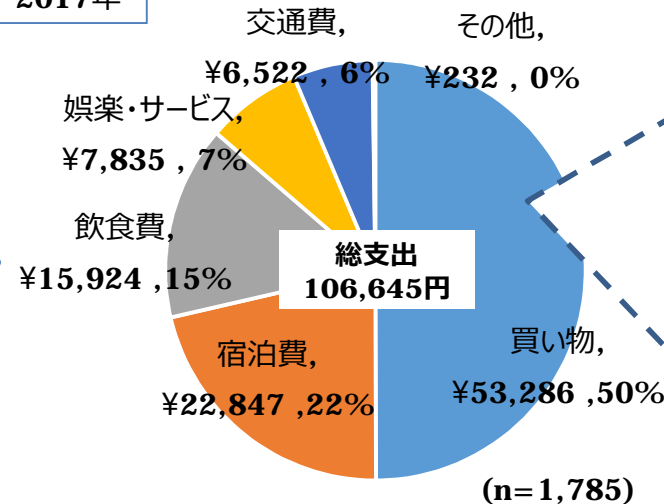
来阪外国人旅行者の買物消費のうち、シェアが大きいのは化粧品や洋服となっている。

来阪外国人旅行者

2016年



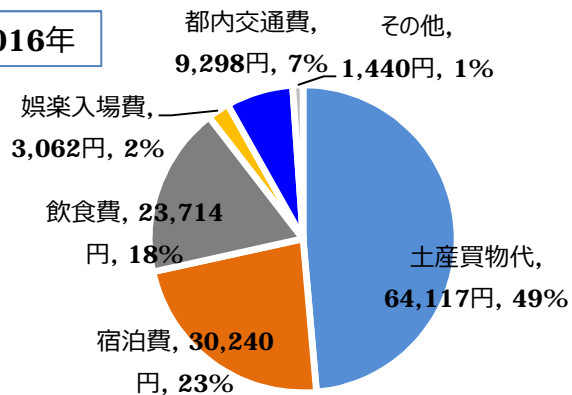
2017年



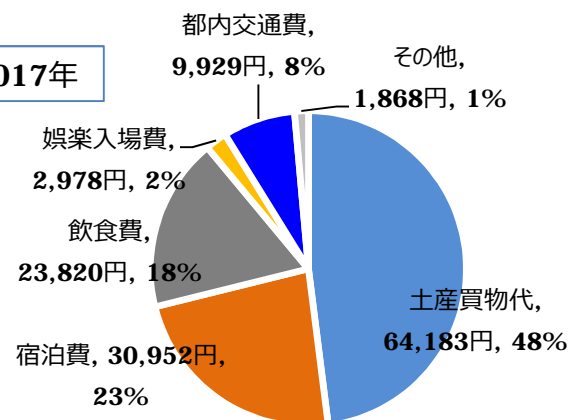
※交通費は航空運賃を除く

(参考)訪都外国人旅行者

2016年



2017年



内訳項目	金額	構成比
化粧品・香水	¥17,629	33.1%
高級ブランド品（時計、装飾品等）	¥9,059	17.0%
洋服・靴・バッグ・装飾品	¥6,266	11.8%
医療品・健康グッズ・トイレタリー	¥5,809	10.9%
電気製品（家電、パソコン、ゲーム等）	¥4,954	9.3%
その他食料品・飲料・酒・たばこ	¥2,844	5.3%
菓子	¥2,399	4.5%
ベビー用品	¥2,321	4.4%
着物・ゆかた・和雑貨・和食器	¥1,116	2.1%
マンガ・アニメ・コスプレ・フィギュア・プラモデル等	¥888	1.7%

出典：来阪 2016年（公財）大阪観光局「外国人消費動向調査」の結果から、大阪観光局が算出
2017年（公財）大阪観光局「来阪インバウンド消費額調査2017年」の結果から、大阪観光局が算出
訪都 東京都「国別外国人旅行者行動特性調査」

平成29年度宿泊税充当事業の見直しについて

平成29年度は、宿泊税充当事業の執行に当たって、税収動向を踏まえながら、事業の組み立てや運用において、工夫を凝らし、充当額の見直しの影響が可能な限り最小限にとどまるよう努めた

- 例) ・委託を予定していた補助金の交付等に係る事務を、府職員で対応
 ・一部の補助事業について、類似の他の補助制度に組み込んで実施

<充当額の見直しを行った主な充当事業>

実施事業	事業内容	宿泊税充当額 (千円)	
		当初予算額	最終予算
☒ Osaka Free Wi-Fi設置促進事業費	<ul style="list-style-type: none"> 府域における観光コース等を中心とした地域・エリアについてWi-Fi整備計画を策定し、集中的に整備を実施 	126,688	42,024
☒ 宿泊施設の「おもてなし」環境整備促進補助金	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設における多言語化やIT環境の整備など、利用者の利便性向上につながる施設整備を促進 	50,000	41,304
☒ 「トラベルサービスセンター大阪」運営事業費	<ul style="list-style-type: none"> JR大阪駅において、各種相談や観光案内、外貨両替等の旅行者の利便性向上のサービスを一体的に提供 	36,027	32,633
☒ 多言語観光マップ作成事業負担金	<ul style="list-style-type: none"> 府域の観光情報を掲載した大阪全体の観光マップを、多言語で作成 	41,523	20,183
☒ 市町村観光振興支援事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> 府域全体の受入環境整備を加速化し、集客促進を図るため、市町村が実施する観光振興事業を支援 	80,000	51,239
☒ 観光施設等国際化支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> 府内観光施設及び府有施設における案内表示の多言語化など施設整備を促進 	70,000	0
☒ 食でおもてなし・多言語メニュー作成支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> 多言語メニュー作成システムとあわせ、多言語メニューを置く飲食店を検索できるサイトを構築・配信 	15,487	9,890
☒ 警察車両（パトロールカー）の英語表記	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者が安全安心に滞在できるよう、警察車両（パトロールカー）の英語表記を実施 	6,354	5,529
☒ 水と光とみどりのまちづくり推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> 「北浜・中之島東部エリア」での水辺のにぎわい空間創出のための施設整備や、八軒屋浜を核とした舟運拠点空間の創出に向けた基本計画の策定 	153,630	85,953
☒ 大阪ストーリープロジェクト事業費	<ul style="list-style-type: none"> 大阪の魅力スポットを巡るルートを、歴史や文化、地域性によってストーリー性をもたせ再編集、発信 	45,432	24,829
☒ 宿泊税導入推進事業費 (28年度導入経費への充当)	<ul style="list-style-type: none"> 税徴収に係るシステム開発経費等、宿泊税導入に係る経費（H28予算額：271,369千円）の償還分（*複数年で償還） 	92,787	61,352

宿泊税充当事業について（平成28年度期末評価）

大阪府観光客受入環境整備の
推進に関する調査検討会議

観光客と地域住民相互の目線に立った 受入環境整備	事業名称・事業内容	宿泊税充当額	期末評価
	大阪おもてなしステーション整備運営費 外貨両替等の民間が実施するサービスと連携して、旅行時の トラブル対応などを一体的にワンストップで提供する場として 「大阪おもてなしステーション」を整備	35,449 千円	2017年3月に「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」を開設し、 運営を開始した。
	外国人旅行者安全確保事業費 外国人旅行者が、安心・安全に大阪の旅行や観光を楽しめるよう、外国人旅行者自らが必要な情報を入手できる環境と 観光施設や宿泊施設等における支援体制を構築	731 千円	ポータルサイトに府内の訪日外国人受入医療機関検索HPのリンクを追加するなど内容の 充実を図るとともに、その周知を図るため、広報カードを増刷した。 地域の意見を反映した支援体制を構築するため、大阪市と堺市の2地域の自治体・宿 泊施設・観光施設が参画するワークショップを開催し、支援フロー（案）をとりまとめた。 引き続き外国人旅行者の災害時における安全確保のための取組みを進める。
	大阪おもてなし環境向上のための水準調査事業 府内の宿泊施設や観光施設など、旅行者を受け入れる諸施 設における受入環境整備の水準調査を実施	1,480 千円	大阪府内の12の観光拠点における案内、誘導表示の設置状況並びに多言語化の実 施状況について実地調査を行うとともに、約300の宿泊、観光、飲食、交通事業者から、 受入環境整備の状況に関するアンケート調査を実施した。
魅力づくり及び 戦略的なプロモーション の推進	国内外からの誘客促進事業費 御堂筋、水の回廊、太陽の塔などの大阪のシンボリックなエリ アにおいて、国内外に発信できる集客装置を活用した誘客促 進事業を実施	30,000 千円	御堂筋ならではの上質なエンターテインメントとして、海外で活躍するアーティストによるファッ ションショーやメダリストによるスポーツコンテンツ等からなる「御堂筋ランウェイ」（11月）を 開催した。 報道等掲出回数は昨年度を大きく上回る結果を得られた。 （H28実績）報道等掲出回数：78回、来場者の満足度：65.0%
	水都大阪観光資源整備事業 「北浜・中之島東部エリア」において、アート空間や水上ステー ジ等、船から見える景色、船が行き交う景色を意識した魅力 空間創出のための調査・設計を実施	19,998 千円	北浜・中之島東部エリアの賑わい空間づくりについて、測量と設計が完了した。当初の目 標をほぼ達成することができた。 （H28実績）舟運利用者数：86万人
	宿泊税導入推進事業費 特別徴収義務者に対する徴収奨励金及び徴税費用等 制度周知のための広報経費等	3,884 千円	

宿泊税充当額合計 91,542
千円

※期末評価は、一部を除き「第2回大阪府市都市魅力戦略推進会議
（H29.12.27）」会議資料より抜粋 P.6

宿泊税充当事業について（平成29年度事業実績）①

大阪府観光客受入環境整備の
推進に関する調査検討会議

観光客と地域住民相互の目線に立った
受入環境整備

事業名称・事業内容	宿泊税充当額	事業実績
Osaka Free Wi-Fi設置促進事業費 府域における観光コース等を中心とした地域・エリアについて Wi-Fi整備計画を策定し、集中的に整備を実施	42,024 千円	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業を創設（H29.7月）し、府内8市町、18エリアでの整備に対して補助を実施した。
公共交通機関等と連携した受入環境整備事業費 乗継利便性の向上を図るため、乗継駅における案内モニター の設置や経路床面表示等の整備を促進	24,000 千円	新大阪、弁天町、鶴橋、難波の4駅において、多言語案内モニターの設置や経路床面案内表示を実施した。
宿泊施設の「おもてなし」環境整備促進補助金 宿泊施設における多言語化やIT環境の整備など、利用者の 利便性向上につながる施設整備を促進	41,304 千円	97件（宿泊施設：29件、特区民泊施設62件）の施設において、宿泊施設については、施設内の案内表示等の多言語化やトイレの洋式化を、特区民泊施設については、消防設備の整備等を実施した。
「トラベルサービスセンター大阪」運営事業費 JR大阪駅において、各種相談や観光案内、外貨両替等の 旅行者の利便性向上のサービスを一体的に提供	32,633 千円	JR大阪駅構内において運営している「トラベルサービスセンター大阪」を円滑に継続運営した。 外国人利用人数（H29.4月－H30.2月）：154,724人 外国人利用件数（H29.4月－H30.2月）：307,958件
多言語観光マップ作成事業負担金 府域の観光情報を掲載した大阪全体の観光マップを、多言 語で作成	20,183 千円	府域の観光情報を掲載した大阪全体の観光マップを6言語（7種類）で作成し、観光案内所や在関西領事館などで配布した。
市町村観光振興支援事業補助金 府域全体の受入環境整備を加速化し、集客促進を図るため、 市町村が実施する観光振興事業を支援	51,239 千円	市町村の実施する、多言語による観光案内板や観光公衆トイレの整備などを支援する「市町村観光振興支援事業」を創設（H29.7月）し、11市町村の19事業に対して補助を実施した。
食でおもてなし・多言語メニュー作成支援事業費 多言語メニュー作成システムとあわせ、多言語メニューを置く飲 食店を検索できるサイトを構築・配信	9,890 千円	府内の飲食店事業者が、最大14言語（15種類）でメニューを作成できる「多言語メニュー作成支援システム」を構築し、飲食店向けサイトを開設した（H30.2月）。
外国人旅行者安全確保事業費 外国人旅行者が災害発生時に必要な情報を入手できる環 境整備やサポート体制の構築	4,546 千円	大阪市内の観光関連事業者等が参画するワークショップを開催し、その意見を踏まえ、「支援フロー（案）」を更新するとともに、その内容を宿泊施設、観光施設の事業者向けに分かりやすく整理した「ガイドライン」を策定した（H30.2月）。
警察車両（パトロールカー）の英語表記 外国人旅行者が安全安心に滞在できるよう、警察車両に英 語表記を実施	5,529 千円	「POLICE」と表記したパトカーを順次配備していく予定。

※事業実績は、一部を除き「平成29年度部局運営方針」より抜粋

宿泊税充当事業について（平成29年度事業実績）②

大阪府観光客受入環境整備の
推進に関する調査検討会議

事業名称・事業内容	宿泊税充当額	事業実績
大阪文化フェスティバル事業費 国際エンターテイメント都市として、大阪を国内外にアピールし、かつてない新たな都市型の文化フェスティバルを実施	76,905 千円	10月を大阪文化芸術フェス月間と位置づけ、万博記念公園をはじめ、府内各会場において、上方伝統芸能、上方演芸、コンサート、演劇、アート等の多彩なプログラムを集中的に実施した。 ・主催プログラム 14件、22公演 ・共催プログラム 8件、28公演
アートスポット魅力創出發信事業費 大阪の都市魅力を向上させ、観光集客につながるような新たなアートスポット（名所）の創出に向けた調査検討の実施	5,000 千円	都市魅力を向上させ、観光集客につながるような新たな名所（アートスポット）の創出するための事業コンセプト、手法等について検討を行い、万博記念公園を候補地とし、1970年万博の開催50周年に合わせて検討することとした。
水と光とみどりのまちづくり推進事業費 「北浜・中之島東部エリア」での水辺のにぎわい空間創出のための施設整備や、八軒屋浜を核とした舟運拠点空間の創出に向けた基本計画の策定	153,630 千円	北浜・中之島東部エリアでの水辺のにぎわい空間創出事業として、船寄施設及びアート空間整備工事を実施中（H30年7月供用開始予定）。八軒家浜を舟運拠点空間とするなど、舟運活性化に向けた基本構想の検討を行った。
大阪ストーリープロジェクト事業費 大阪の魅力スポットを巡るルートを、歴史や文化、地域性によってストーリー性をもたせ再編集、発信	45,432 千円	専門的な知見を持ったアドバイザーから意見聴取のうえ、補助金事業（4ストーリー）を決定、6市村1団体において事業を実施した。
国内外からの誘客促進事業委託料 国内外からの話題を集め、多くの人を誘客する起爆剤となる事業を大阪のシンボリックなエリアにおいて実施	60,000 千円	御堂筋から未来へ繋がるスポーツとパフォーマンスの祭典として、世界で活躍するアスリートやパフォーマー等による「御堂筋ランウェイ」を開催（H29.11月）。 ・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 88回 ・Web掲載回数 560回
ナイトカルチャー魅力創出事業 御堂筋イルミネーションの中央エリアを圧倒的な光空間を創出する事業として新たに構築するとともに、国内外の旅行者から要望が多いナイトカルチャーの発掘・創出	195,489 千円	「大阪・光の饗宴2017」を50日間開催（11月12日～12月31日） ・来場者数 約1,367万人 ・連携実施する民間等の団体数 19団体 「ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会」の意見を踏まえ、補助制度を創設（H29.8月）し、7事業者に対して補助を実施した。
宿泊税導入推進事業費 特別徴収義務者に対する徴収奨励金及び徴税費用等制度周知のための広報経費等	9,124 千円	
宿泊税導入推進事業費（28年度導入経費への充当） 宿泊税導入に係る経費の償還	61,352 千円	
宿泊税充当額合計	75,000 千円	

魅力づくり及び戦略的な
プロモーションの推進

※事業実績は、一部を除き「平成29年度部局運営方針」より抜粋

1 特別徴収義務者の登録及び申告の状況

- 特別徴収義務者登録状況（平成30年3月末時点） **365施設**
施設別登録内訳 ホテル・旅館 323施設 簡易宿所 26施設 特区民泊 16施設
※旅館業法等での確認施設数（平成30年4月1日現在）
ホテル・旅館 1,229施設 簡易宿所 598施設 特区民泊 658施設
- 平成29年度（平成29年3月から平成30年2月宿泊分） **771,003千円（調定額）**
施設別内訳 ホテル・旅館 770,930千円 簡易宿所 72千円 特区民泊 1千円

2 特別徴収義務者の捕捉調査

- **Web**検索でホテル等の建設計画等を確認し、営業開始前に課税対象施設を把握する。
- 本府及び各保健所設置市の環境衛生担当部局に旅館業法の許可状況及び特区民泊の認定状況を定期的に捕捉する。
⇒ 新規開業施設等への宿泊税の周知及び特別徴収義務者への登録指導は、郵便、電話及び臨場等の方法により実施する。
- 平成29年度中に新規登録した特別徴収義務者数 **103施設**
登録施設内訳 ホテル・旅館 61施設 簡易宿所 26施設 特区民泊 16施設

3 帳簿等調査

特別徴収義務者の各施設に臨場して、宿泊税条例に規定する保存義務のある会計帳簿の確認及び会計システムで宿泊税が正しく集計されているか等の確認を行い、宿泊税の申告が適正かどうかについて調査する。（根拠法令：地方税法第733条の4 徴税吏員の法定外目的税に関する調査に係る質問検査権）

- 調査対象施設を一定の条件で抽出し、対象施設に複数人の調査員で臨場調査を実施する。
- 平成29年度調査実績
・15施設（平成29年9月以降）

4 宿泊税の事務処理体制

- なにわ北府税事務所宿泊諸税課 6名（定数）
・取扱税目 宿泊税、ゴルフ場利用税、府たばこ税、狩猟税、鉦区税